

東洋資料 No. 827

国内版

在ペルー日系人口に對する
社会経済学的調査

平成2年9月

国際協力事業団
移住事業部

707
234
E1
LIBRARY

SC

JICA LIBRARY



1085172131

21582

在ペルー日系人口に関する
社会経済学的調査

平成2年9月

国際協力事業団
移住事業部

国際協力事業団

21582

感謝のことば

プロジェクト準備を担当し、最終段階までの指揮者として、また調査員の代表として、ご支援、ご協力いただいたさまざまな共同体の機関や、今回のような大規模プロジェクトの実施に当って、自発的にご意見やご提案をおよせ下さった方々に、ここに感謝の意を表したいと思います。

同様に、ご融資いただいた日本の国際協力事業団およびトヨタ財団と、必要機器や場所などをご提供下さいました日秘協会、そして研究所の使用を許可して下さいた80年財団(FUNDACION 80)に、お礼を申し上げます。同様に、本プロジェクトの実施を委任して下さいたマスダ・ショウゾウ博士に感謝いたします。

さらに、私たちの活動を理解し、支援して下さいたコハツ・エレナ委員長を代表とする人口調査委員会に感謝の意を表します。調査活動を展開する上で、管理体制が最も大きな障害の一つとなることが多々ありますが、今回は、ナミサト・ネリー氏およびイナミネ・ユリ氏の協力を得ることができ、順調に効率よく活動を進めることができました。

また、なによりも収入源としてではなく、重要な意義を持つ課題として、誠意をもって効率よく自発的にプロジェクト活動に従事して下さいた青年の方々に感謝します。

同様に、現在のように日々の生活をどのように生きぬくかが最優先課題と思われる時期に、本プロジェクトを信頼して下さいた日系一世とその子孫に当たる方々にも、この場を借りてお礼を申し上げます。

最後になりましたが、本プロジェクト・チームを構成したアラキ・ラウル、イトウ・アンヘロ、マツフジ・タミ、コチ・メイレ氏や、特殊な業務に従事した Giovanni Bonfiglio, Magdalena Chu, Gladys Róques, そして Ana と Esther Ogata, Eduardo Durand 氏にも感謝したいと思います。

プレゼンテーション

これまでに行なわれた、在ペルー日本人移住者とその人口に関する現地調査と根本資料に基づいた調査は少ない。本テーマに関する刊行物や論文の大半は、以前の資料を新たに解説しているものや推測に基づくものである。戦後に行なわれた在ペルー日系人関連調査としては、東京大学マスタ博士の指導のもとに 1966 年に行なわれた全国規模の人口調査と、1980 - 81年の間に、本報告書の著者がフォード財団 (FUNDACION FORD) の協力を得て、全国で以前から日系人が最も集中する地域において行なった社会経済学的調査が挙げられる。この二つの調査結果は、昨年末から来年までの予定で行なわれる調査活動において、参考となる統計データおよび分析データとして使用されている。

本調査は、まず全国的な人口調査を以て開始したが、総合的な問題提起を行ない、これによって人口、社会経済、文化的側面、アイデンティティーの問題などを含む総合的な診断を下せることが期待されている。人口調査と並行して、アラキ・ラウルの指導のもとに進められているリマにおける農業従事者に関する調査や、マドレ・デ・ディオス、サン・マルティン県で実施されている他の調査など、特定なサブテーマも小規模ながら各地域で行なわれている。これらの小規模な調査活動は今後数か月間進めていく予定であり、その他にも小規模なアンケートやインタビューを通して他の分野でも活動を続けていく予定である。

人口調査は、具体的に次の質問に対する回答を得る目的で行なった。

1. 在ペルー日本人移住者とその子孫の人口の近似値およびその他の特徴（地理的分布、居住区、年令の分布、世代、混血、平均寿命、最近の海外への移住の傾向、国内における移住の傾向、その他）はどうなっているか。

2. 労働状況はどうなっているか。完全雇用、不完全雇用、失業はあるか。前回の調査結果（1966年人口調査と1980～81年調査）と比べ、雇用状況に変化はあったか。就労人口の平均実質所得はどれくらいか。それは何歳までか。以前と同様、現在でも第三次産業（商業、サービス業）に雇用が集中しているのか。工業その他の部門へ新たな進出は見られるか。現役専門職や従業員の層の増加は見られるか。従来の産業以外の業務や部門に若者は進出しているか。全体として何が主な雇用源となっているか。経済部門別の分布はどうなっているか。
3. 一般に、日系人はどの社会経済的ステータスに属しているか。前回のデータに比べて上がったか、下がったか。
4. 現在も残っている文化的慣習にはどのようなものがあるか。守られている習慣は何か、また、どのような側面が改められているか。文化を吸収するための特定な経路はあるのか。他にどのような文化的影響が強いのか。

今回の調査のために、世帯に対して二通りの調査手段（質問表およびアンケート各1通）を用意した。世帯とは、ここで「血縁家族、法的家族、および同じ住居に住む親戚で、収入と支出（家計）を共有しているもの。一時的に住居を離れている者を対象に入れる一方で、一時的な訪問者および使用人は対象外とする。」と定義する。

調査対象人口の所在の調査手段：人口調査に先がけて、全国の日系人協会、学校、企業、加藤神父の資料などの登記書類に基づいて、名簿を作成した。こうして、世帯の約34.4%をカバーし、残りについては最初に調査した家族の証言や、街頭調査および全国紙に広告を掲示して調査を行なった。（図2を参照。）

国内の 20 県に加え、他の地域に移動するまでの逗留地としてアマゾンとカハマルカの 2 地域においても調査を行なった。(図 1 を参照)。

質問表とアンケートによる調査活動は、全国各地の青年 170 人が行なったが、これらの人員については予め研修、選抜という課程を経て、調査期間中も監視を行なった。

また、調査結果のプログラミングおよびデータのインプットも、ハヤシ・ホルヘ、イトウ・アンヘロ両氏の指導のもと、若者のチームがこれを担当した。本作業に際しては、プロジェクト用に購入されたコンピューター 1 台、リース機 1 台、およびオクヤマ・カイチ氏より数ヶ月間借入れたもの 1 台、計 3 台のコンピューターを使用した。

以下、何週間もかけて編集した 15 の表を紹介するが、これらの表は、今後、十分な分析作業のもとに編集が予定されている何百もの表の一部にしかすぎないという意味で、予備データであり、これから数か月の時間をかけて他の調査方法と組合せて作成を予定している情報の予備データである。最終的には、来年末には調査結果を刊行する予定である。

本調査結果は、どの人口調査でもそうであるように、ある程度のデータ漏れがあると思われる。その割合は、リマ県で 5 ~ 10% 程度で、その他の県では 5% と推定される。今後、いくつかの地域で調査を継続し、この割合を減らす努力をする予定であり、すでに 2 県において調査が実施されている。

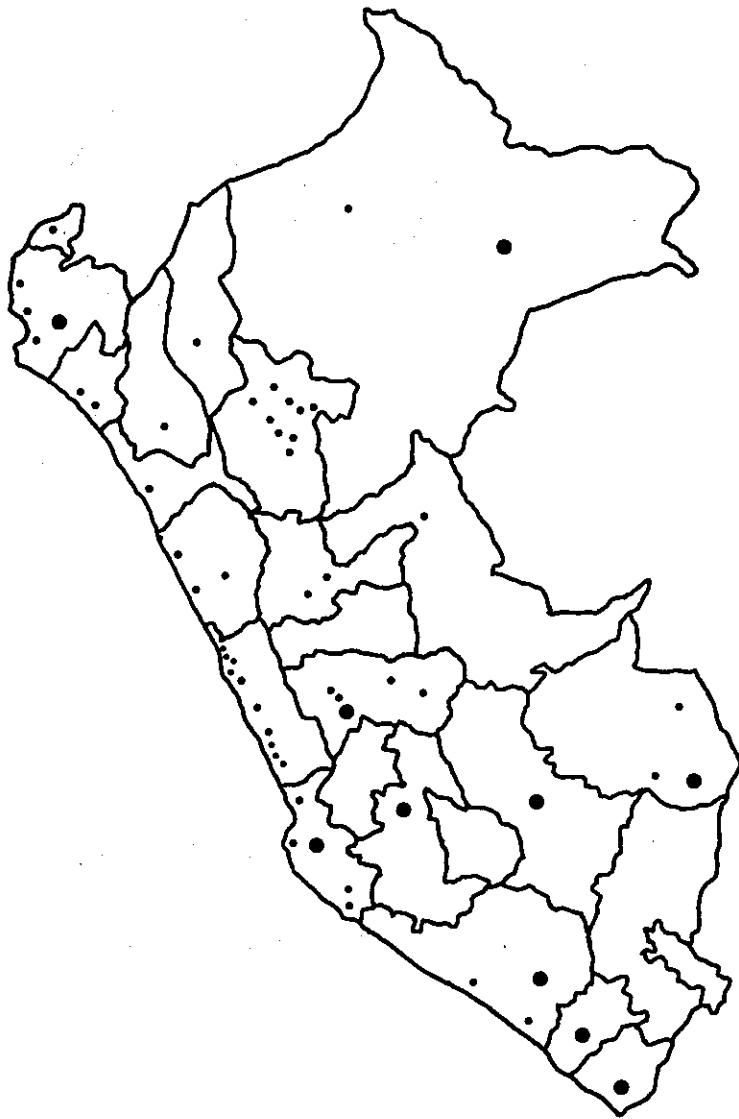
表1-a
 在ベルー日系人口の推移
 1966～2016 両性 仮説1

年	人口	年	人口
→ 1966	32,002	1992	51,437
1967	33,048	1993	52,089
1968	34,059	1994	52,753
1969	35,038	1995	53,420
1970	35,986	1996	54,083
1971	36,907	1997	54,749
1972	37,800	1998	55,421
1973	38,662	1999	56,090
1974	39,495	2000	56,748
1975	40,304	2001	57,386
1976	41,091	2002	58,007
1977	41,853	2003	58,617
1978	42,591	2004	59,211
1979	43,304	2005	59,785
1980	43,997	2006	60,333
1981	44,670	2007	60,856
1982	45,315	2008	61,358
1983	45,931	2009	61,838
1984	46,530	2010	62,293
1985	47,126	2011	62,724
1986	47,729	2012	63,131
1987	48,337	2013	63,514
1988	48,941	2014	63,873
→ 1989	49,547	2015	64,206
1990	50,161	2016	64,512
1991	50,788		

表1-b
在ペルー日系人口の推移
1966～2016 両性 仮説2

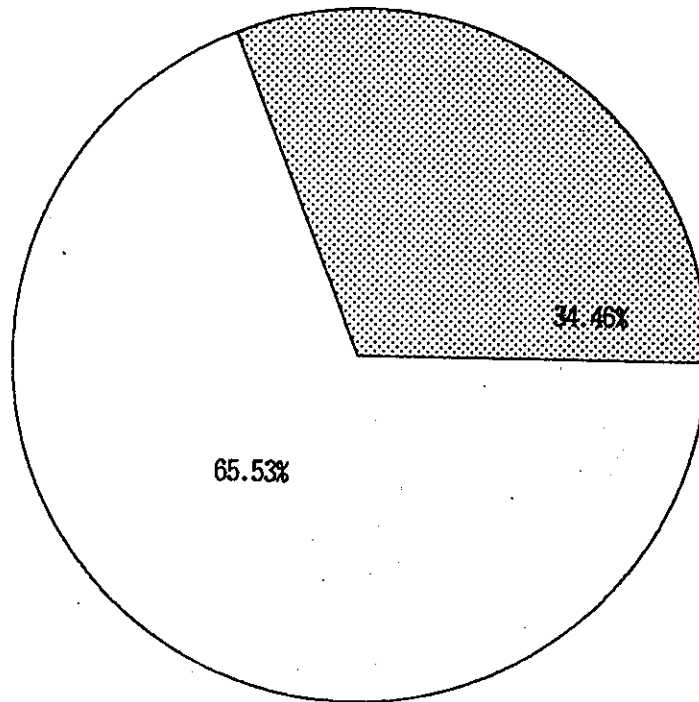
年	人口	年	人口
→ 1966	32,002	1992	47,258
1967	32,881	1993	47,737
1968	33,732	1994	48,231
1969	34,556	1995	48,734
1970	35,354	1996	49,242
1971	36,128	1997	49,763
1972	36,876	1998	50,303
1973	37,398	1999	50,845
1974	38,295	2000	51,374
1975	38,968	2001	51,876
1976	39,618	2002	52,355
1977	40,245	2003	52,822
1978	40,850	2004	53,269
1979	41,430	2005	53,686
1980	41,983	2006	54,067
1981	42,514	2007	54,409
1982	43,011	2008	54,719
1983	43,476	2009	54,997
1984	43,919	2010	55,245
1985	44,350	2011	55,465
1986	44,777	2012	55,655
1987	45,190	2013	55,814
1988	45,583	2014	55,944
→ 1989	45,972	2015	56,047
1990	46,372	2016	56,123
1991	46,799		


図1
日系人の人口調査
1989



●● 調査実施地区

図2
日系人の居住地の調査方法
1989年 人口調査



 日秘協会、県人会、村人会、学校、企業の名簿、加藤神父の資料等


 調査を受けた家族の証言、電話帳、全国紙での掲示等

図3
日系人世帯の分布



1. TUMBES	: 06	2. PIURA	: 75	3. LAMBAYEQUE	: 207
4. LA LIBERTAD	: 435	5. ANCASH	: 231	6. LIMA	: 8,827
7. ICA	: 121	8. AREQUIPA	: 62	9. MOQUEGUA	: 14
10. TACNA	: 10	11. CAJAMARCA	: 03	12. HUANUCO	: 27
13. JUNIN	: 190	14. AYACUCHO	: 14	15. CUSCO	: 37
16. AMAZONAS	: 02	17. SAN MARTIN	: 135	18. LORETO	: 107
19. UCAYALI	: 55	20. M. DE DIOS	: 114		

表2
世帯の分類

分類	件数	割合(%)
核家族世帯	5,442	49.99
拡大家族世帯	1,978	18.17
片親家族世帯	1,344	12.35
単身世帯	510	4.68
夫婦世帯	594	5.46
複数家族世帯	435	4.00
成人共同世帯	572	5.25
その他	2	0.02
*不明	9	0.08
合計	10,886	100.00

* 西語版報告書において記載もれ

表3
世代別、性別世帯主調査

世代	男性	女性	合計	%
一世	744	258	1,002	9.18
二世	5,210	1,176	6,386	58.50
三世	1,275	189	1,464	13.41
四世	25	2	27	0.25
五世以降			1	0.01
不明			1	0.01
合計	7,255	1,626	8,881	
%	66.46	14.90	81.36	

表4
日系・非日系別世帯主調査

	人数	%
日系人	8,881	81.58
その他	2,005	18.42
合計	10,886	100.00

表5
日系人社会の合計人口
(日系人および非日系人を含む)

	人数	%
日本人移住者およびその子孫	44,553	88.72
非日系人の親族	5,662	11.28
	50,215	100.00

表6

年齢別人口 (ランク別)	
0 ~ 4 歳	3,632
5 ~ 9 歳	4,333
10 ~ 14 歳	5,084
15 ~ 19 歳	4,981
20 ~ 24 歳	4,387
25 ~ 29 歳	3,788
30 ~ 34 歳	3,594
35 ~ 39 歳	3,591
40 ~ 44 歳	3,404
45 ~ 49 歳	3,347
50 ~ 54 歳	3,213
55 ~ 59 歳	2,452
60 ~ 64 歳	1,530
65 ~ 69 歳	869
70 ~ 74 歳	621
75 ~ 79 歳	628
80 ~ 84 歳	433
85 ~ 89 歳	233
90 ~ 94 歳	61
95 ~ 99 歳	21
不明	13
50,215	

表7
世代別人口

世代	人数	%
一世	2,301	5.16
二世	14,996	33.66
三世	21,278	47.76
四世	5,830	13.09
五世	144	0.32
六世以降	4	0.01
合計	44,553	100.00

表8

年令別、性別日系人口

年 令	一世		二世		三世		四世		五世以降		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
0~4歳	2	8	45	57	664	651	1047	1007	39	41	3561
5~9歳	6	6	57	63	1240	1185	844	844	21	18	4284
10~14歳	4	2	68	76	1856	1779	644	558	15	8	5010
15~19歳	3	5	93	65	2113	2023	290	285	3	1	4881
20~24歳	6	1	148	149	1763	1801	115	96	0	0	4079
25~29歳	11	4	196	239	1343	1277	40	25	1	0	3136
30~34歳	28	41	429	425	852	922	14	11	0	0	2722
35~39歳	45	52	744	836	552	520	3	1	1	0	2754
40~44歳	30	39	1061	1138	249	229	1	1	0	0	2748
45~49歳	41	29	1187	1376	72	95	0	0	0	0	2800
50~54歳	38	30	1216	1402	27	27	1	1	0	0	2742
55~59歳	41	54	945	1028	13	9	1	0	0	0	2091
60~64歳	39	64	552	618	3	3	0	0	0	0	1279
65~69歳	63	70	259	317	2	0	0	0	0	0	711
70~74歳	148	202	77	85	0	1	0	0	0	0	513
75~79歳	256	276	14	20	0	0	0	0	0	0	566
80~84歳	162	225	3	3	0	0	0	0	0	0	393
85~89歳	73	125	0	0	0	0	0	0	0	0	198
90~94歳	18	37	0	0	0	0	0	0	0	0	55
95~99歳	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	16
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	1	2	3	3	1	1	0	0	14
合計	1022	1278	7096	7898	10752	10525	3001	2829	80	68	
	2301		14996		21278		5830		148		44553

表9

沖縄県出身日系人とその他の日系人の関係

	人数	%
沖縄県出身の世帯家族	4,794	44.04
それ以外の世帯家族	<u>6,092</u>	<u>55.96</u>
	10,886	100.00
沖縄県出身日系人人口	23,183	52.03
それ以外の日系人人口	<u>21,370</u>	<u>47.97</u>
	44,553	100.00
沖縄県出身の世帯家族の平均人数	<u>5</u>	
それ以外の世帯家族の平均人数	<u>4</u>	

表10

人口分布

(リマとその他の地域)

	人数	%
首都リマおよびカジャオ	36,740	73.17
その他	13,475	26.83
	50,215	100.00

表11
日本への移住人口とその理由

年	学 習	労 働	その他	合 計
~ 1985	101	109	76	286
1985	11	27	13	51
1986	10	28	15	53
1987	14	23	11	48
1988	38	270	22	330
1989	12	166	9	187
合計	186	623	146	955

表12
アメリカ合衆国への移住人口とその理由

年	学 習	労 働	その他	合 計
~ 1985	130	322	46	498
1985	16	60	5	81
1986	7	40	2	49
1987	28	29	4	61
1988	37	77	13	127
1989	12	15	2	29
合計	230	543	72	845

表1.3

日本への移住人口 1988 ~ 1989 年 3 月まで

現在の年齢	人数	%
0 ~ 4 歳	7	1.35
5 ~ 9 歳	3	0.58
10 ~ 14 歳	6	1.16
15 ~ 19 歳	32	6.18
20 ~ 24 歳	113	21.81
25 ~ 29 歳	95	18.34
30 ~ 34 歳	104	20.08
35 ~ 39 歳	67	12.93
40 ~ 44 歳	37	7.14
45 ~ 49 歳	27	5.21
50 ~ 54 歳	10	1.93
55 ~ 59 歳	5	0.97
60 ~ 64 歳	3	0.58
65 ~ 69 歳	3	0.58
70 ~ 74 歳	0	0.00
75 ~ 79 歳	3	0.58
80 ~ 84 歳	0	0.00
85 ~ 89 歳	0	0.00
90 ~ 94 歳	0	0.00
95 ~ 99 歳	0	0.00
不明	3	0.00
合計	518	99.42

485

46.33%

79.34%

93.62%

表14

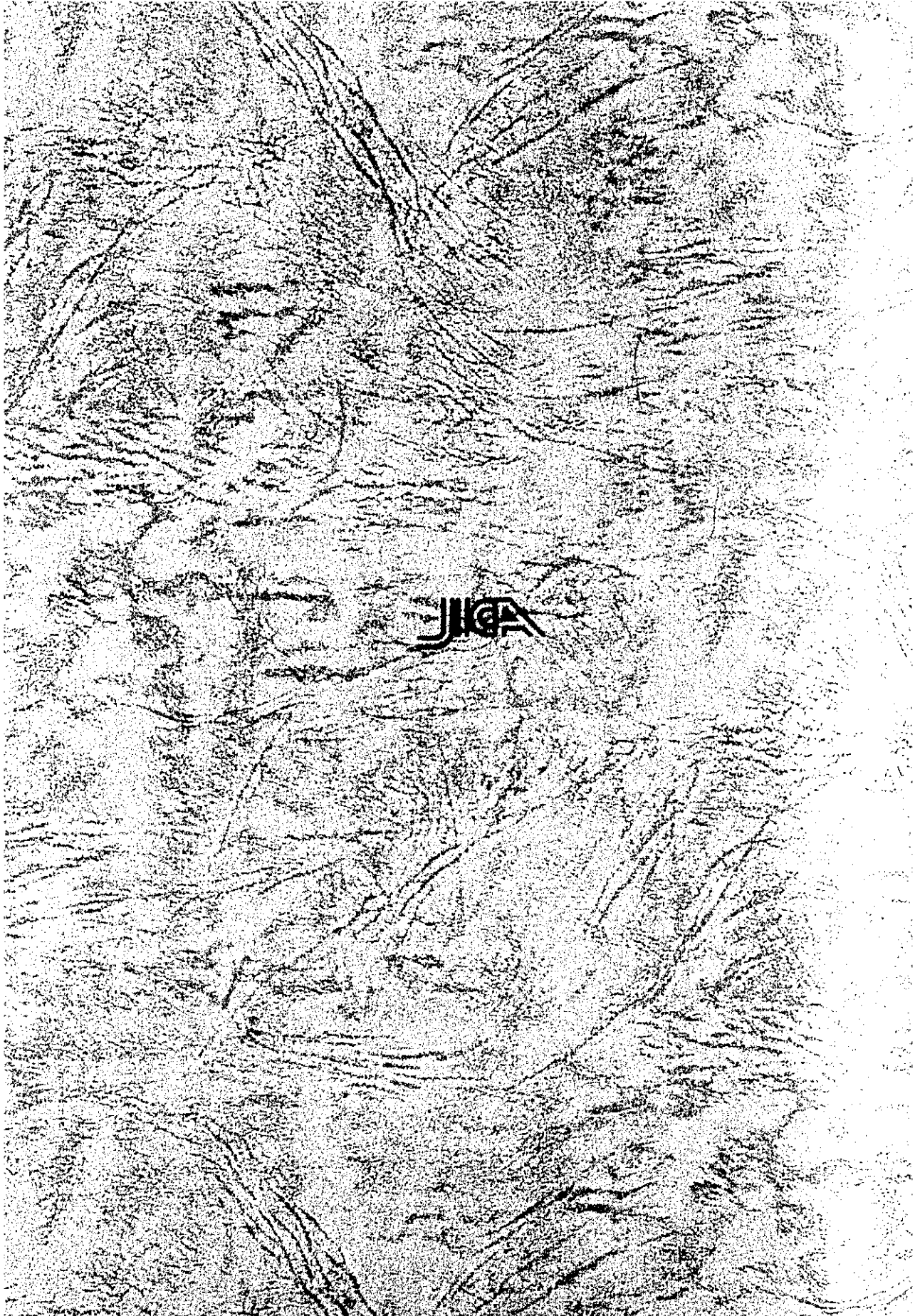
日本への移住人口 1988～1989年3月まで

世代	人数	%
一世	31	5.98
二世	209	40.35
三世	268	51.74
四世	10	1.93
五世	0	0.00
合計	518	100.00

表15

正式な宗教

宗教	人数	%
カトリック	46,337	92.28
仏教	1,494	2.98
神道	149	0.3
福音主義	414	0.82
プロテスタント	62	0.12
その他	1,061	2.11
無信教	698	1.39
合計	50,215	100.00



JICA